

ホワイトエッセンスホワイトニング プロ

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者)

- (1) 下記の患者には本品を使用しないこと。
[身体に悪影響を及ぼす可能性がある]
 - ・ 無カタラーゼ症の患者
 - ・ 妊娠中・授乳中の患者
 - ・ 気管支炎、喘息の患者
- (2) 下記の歯には本品を使用しないこと。
[歯に悪影響を及ぼす可能性がある]
 - ・ う蝕のある歯
 - ・ 知覚過敏を有する歯
 - ・ 象牙質露出が認められる歯
 - ・ 歯根露出が認められる歯
 - ・ 不適な歯冠修復物が認められる歯
 - ・ 形成不全など実質欠損の大きい歯
 - ・ 乳歯・幼若永久歯
 - ・ 重度のクラックが認められる歯
 - ・ 打診痛・自発痛を有する歯
 - ・ 歯内療法・歯冠修復が必要な歯
- (3) 下記の歯には本品を使用しないこと。
[期待できる効果が得られない可能性がある]
 - ・ 金属塩による変色歯
 - ・ 重篤な変色歯(テトラサイクリン歯
Feinmanらの分類によるF4)

2. 使用方法

- (1) 本品を用いてウォーキングブリーチ法を行わないこと。[歯に悪影響を及ぼす可能性がある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は、液(過酸化水素水入りチューブ)とジェル(炭酸水素ナトリウム含有ジェル入りシリンジ)から構成され、約6(体積):4(重量)の比率で混合して用いる。

構成品	形状	主な成分
液	無色澄明の液体	35%過酸化水素水 (医薬用外劇物)
ジェル	無色半澄明のジェル	増粘剤、基剤、 炭酸水素ナトリウム、 精製水

2. 原理

過酸化水素水と炭酸水素ナトリウムを含有するジェルとの練和物に、光(可視光)照射することにより、過酸化水素の酸化作用を増強し、変色歯を漂白する。

【使用目的又は効果】

変色歯の漂白

【使用方法等】

- (1) 漂白を行う歯面に対して、機械的歯面清掃を行う。
- (2) 保護眼鏡及びフェイシャルマスク等を用いて、顔面を保護する。
- (3) ロール綿及び口角鉤等を用いて、歯面と唇を隔離する。
- (4) シリコン又は天然ゴムラテックスから成るシート状の「歯科用ラバーダム」又は「歯科用ラバーダム防湿キット」を用いて歯肉を保護する。或いは、シリコンからなるジェル状の「歯科用ラバーダム防湿キット」又はワセリンを歯頸部に沿って塗布し、歯肉を保護する。
- (5) エアブローを用いて歯面を十分に乾燥させる。
- (6) 練板紙等の上に1回用ジェルシリンジはジェル全量を、5回用ジェルシリンジは1目盛分のジェルを絞り出し、次いで液全量を加え、プラスチック製スパチュラで均一なペーストになるように60秒~90秒間練和する。練和後の過酸化水素濃度は、19~24%となる。5回用ジェルシリンジは使用后、速やかにキャップを装着する。
- (7) 漂白対象となる変色歯1本以上に、速やかに練和物を約1mmの厚さに塗布する。
- (8) 多数歯照射用の歯面漂白用活性化装置又は歯面漂白用加熱装置(370nmよりも短波長側の光を出力せず、370~530nmの範囲に有効波長を有し、放射発散度600~750mW/cm²)を用いて、歯面から20mm程度の距離から約10分間光照射を行う。
- (9) 光照射終了後、歯面に塗布した漂白材をガーゼ又は脱脂綿を用いて除去する。
- (10) (7)~(9)の作業を3回繰り返す。
- (11) 歯肉保護材を取り除く。
- (12) 漂白処置を行った歯面を水洗いし、漂白材を完全に除去する。
- (13) フッ素入りの歯面研磨材(メルサージュ等)で歯面研磨する。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- (1) 漂白材が歯肉に付着するのを防ぐために、シリコン又は天然ゴムラテックスから成るシート状の「歯科用ラバーダム」又は「歯科用ラバーダム防湿キット」を用いて歯肉を保護すること。或いは、シリコンからなるジェル状の「歯科用ラバーダム防湿キット」又はワセリンを歯頸部に沿って塗布し、歯肉を保護すること。
- (2) 漂白処置には30分以上の時間を要し、口唇が乾燥する可能性があるため、ワセリン等で口唇を保護すること。
- (3) 漂白処置後に漂白効果を患者に示すため、漂白処置前の患者の歯の色を、その色に近似したシェードガイドを並べて比較し、写真で記録しておくこと。

- (4) 各種の測色計を用いて、色調等を数値で記録しておくこと。
- (5) 液チューブ1本に対するジェルの混合比率（1回用ジェルシリンジの場合は全量、5回用ジェルシリンジの場合は1目盛）を必ず守ること。
- (6) 練和した漂白材を容器に戻したり、別の患者へ再使用したりしないこと。
- (7) 液及びジェルを容器から出して練和する際は、液及びジェルがはみ出たりしないよう、大きい練板紙等を使用すること。
- (8) 多数歯照射をする場合は、十分に光が当たるように照射方法や照射時間に注意して使用すること。
- (9) 多数歯照射では、正面前歯に比べて側面及び奥側で漂白作用が弱くなる傾向があるので注意すること。
- (10) 本品の使用は1回塗布につき10分間照射をすることを1回とした場合、1日につき3回までとすること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品使用時には、使用説明書を必ず参照すること。
- (2) 本品を使用する際は、室内の換気を良くし、漂白処置時に発生する過酸化水素の蒸気を吸入しないように注意すること。
- (3) 本品を使用する際には、術者は手袋及び保護眼鏡を着用すること。また、患者には保護眼鏡及びフェイシャルマスク等を用いて、顔面を保護すること。
- (4) 処置前に必ず患者にインフォームドコンセントを行い、漂白処置によって痛みなどの安全性及び得られる漂白効果には個人差があること、漂白効果は永久に維持されないことを、予め患者に十分説明すること。
- (5) 液は医薬用外劇物であり、強い刺激性があるため、皮膚や軟組織に付着したり、目に入らないように注意すること。皮膚や軟組織に付着した場合は、15分間大量の水で洗い流すこと。万が一、目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診察を受けること。
- (6) 漂白処置を行うときは、無麻酔下で行うこと。
- (7) 漂白処置中に患者が痛み、疼痛等を訴えたときは、直ちに処置を中止し、歯を水洗し、異常が発生した部位の治療を行うこと。
- (8) 本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生した患者には、直ちに使用を中止して医師の診察を受けさせること。
- (9) 本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生した術者は、直ちに使用を中止して医師の診察を受けること。
- (10) 誤飲した場合には直ちにうがいをさせ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませ、速やかに医師の診察を受けさせること。
- (11) 使用器具の消毒や使いまわしは行わないこと。
- (12) 照射波長に紫外光を含まない照射器を使用する等、光照射中の口腔粘膜等の日焼けには十分に注意すること。
- (13) 5回用ジェルシリンジを使用後、ジェルが先端からあふれた場合、水洗や濡れたもので拭き取りを行わず、必ず乾いた使い捨てペーパー又はティッシュペーパーで拭き取ること。

- (14) 本品は、【使用目的又は効果】に記載されている用途以外には使用しないこと。

2. 妊婦、産婦、授乳婦、及び小児等への適用

- (1) 妊娠中及び授乳中の患者には本品を使用しないこと。[身体に悪影響を及ぼす可能性がある]
- (2) 乳歯及び幼若永久歯には本品を使用しないこと。[歯に悪影響を及ぼす可能性がある]

3. その他の注意

- (1) 適切な処置の効果をj得るために、患者に対して以下の事項を守るように指導すること。
 - 処置後24時間以内は、着色性の飲食物（カレー、コーヒー、赤ワイン等）の摂取及び喫煙を避けること。
 - 漂白効果を持続させるために、患者の口腔内環境に合った口腔清掃方法を指導し、励行させること。
 - 漂白処置後、知覚過敏や歯周組織の異常等の症状が現れた場合には、担当歯科医師に連絡するよう指導すること。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

- (1) 本品は、冷蔵（5±3℃）で保管する。
- (2) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように、適切に保管・管理すること。

2. 有効期限

本品は、包装・容器に記載の使用期限までに使用すること。

【包装】

セット包装：液	10本
1回用ジェル	10本
又は	
液	10本
5回用ジェル	2本

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：ホワイトエッセンス株式会社

販売元：ホワイトエッセンス株式会社

住所：〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 3-12-18

渋谷南東急ビル

電話番号：03-6434-1331